

南三陸町復興支援「光のカケラプロジェクト」

東日本大震災復興支援として、「光のカケラプロジェクト」を行いました。エコロジーブランド「ECOMACO」による未来を担う子どもたちの「色育」や「エコ活動」を啓発するプロジェクトに賛同し、活動を推進しています。

ユニーでは、①東日本大震災被災地の応援と防災意識の向上

②色育 ③バイオマス素材の紹介の3つを大きなテーマとし取り組みを行いました。また、P&Gとの協働プロジェクトとして、アピタ・ピアゴでのP&G製品売り上げの1%を活動資金として支援しています。



南三陸町でのワークショップ

第一フェーズとして、東日本大震災の被災地である宮城県南三陸町でワークショップを行い、参加した女性や子ども達に色が元気とパワーをもたらすことを伝えました。まだ復興途上にある南三陸町の女性達に“色のパワー”で少しでもハッピーになってもらいたいと思います。南三陸町での活動は、NPOウィメンズアイとの協働で実現しました。



Women's Eye



素材や色について、ECOMACOの代表岡さんにレクチャーしていただきました



洋服の端切れ（バイオマス素材）を使い、ポストカード、エコバッグを作りました



ワークショップでは色によって力を貰うことができる、色は人をハッピーにすることが実感できました



ECOMACOの洋服を身にまとい、笑顔の参加者

リーフウォークでのイベント

第二フェーズとして、2013年5月11・12日にリーフウォーク稲沢にて南三陸町復興支援イベントを開催しました。南三陸町の被災状況の紹介や南三陸町からゲストを招いての防災についてのトークショー、バイオマスプラスチック繊維を草木染めた素材を使っのファッションショーやワークショップなどのお客様参加型のイベントを開催しました。



津波の高さ
赤…南三陸町歌津 (15.9m)
青…南三陸町志津川 (14.7m)



メイン会場には南三陸町を襲った津波の高さを押し、津波の大きさを伝えました



実際に津波に遭ったゲストとのトークセッション



P&Gの皆さんと前村会長



ECOMACOによる洋服の端切れを使ったワークショップ



バイオマス素材の端切れでハガキをデコレーションしました



P&Gバファーマー（調香師）による香りづくりワークショップ



リデザインプロジェクトのチャリティ販売（ユニーブース）



ECOMACOによるバイオマス素材のファッションショー



サスティナブルコーヒーの試飲（珈琲工房ひぐちのブース）